

## 平成 26 年度 第 4 回長野県支部 CPD 講習会（実施報告）

### 1. 見学会「先端緊急医療施設見学：

#### 佐久医療センター」

日 時 平成 26 年 11 月 15 日（土） 13:00～14:20

会 場 佐久医療センター

参加者 会員 21 名、非会員 17 名

木次総務課長に案内していただき、3 月 1 日に開院したセンターを見学しました。本センターは、「4 つのセンター機能」（救命救急、脳卒中・循環器病、がん診療、周産期母子医療の各センター）と「6 つの特徴」（専門医療機能、災害拠点病院、地域医療支援、高機能診断、研修・教育、患者サポート機能）を有しているとのことでした。見学を終えて、医療はもちろんのこと、地球環境や患者さんとそのご家族への配慮も最先端の施設であるということを実感しました。

今回は医療施設見学ということで、一般の方にも多数ご参加いただきました。休日にご対応いただきました木次総務課長、センター関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。



## 2. 講演会「人工酵素の夢 基礎から商品化まで」

日時 平成26年11月15日(土) 15:00~16:30  
講師 白井汪芳先生 信州大学名誉教授・特任教授  
会場 佐久大学  
参加者 会員20名、非会員12名

人工酵素研究の第一人者である白井先生に、50年にわたって追いかけている人工酵素の基礎から世界でも類のない商品開発までを講演していただきました。

「人の体は数千種類の代謝反応によって成り立っていますが、その触媒が酵素です。酵素は常温・常圧、水を溶媒にして化学工業触媒が300年かかる反応を1秒で成し遂げる驚異的能力を持っています。この酵素に学び、化学の手法で人工酵素ができれば、イノベーションが起きます。」

研究でのエピソードやユーモアを交えた解説をお聞きし、人工酵素の力を知ることができました。また、消臭・抗菌、ヘルスケア繊維など、幅広い商品が先生の研究から開発されており、新型インフルエンザに対する抗ウイルス機能を持った人工酵素加工不織布のマスクもその1つだったとのことでした。私たちの健康的な生活づくりに、先生の研究が大きく貢献しているということを実感しました。

白井先生、貴重なご講演ありがとうございました。

